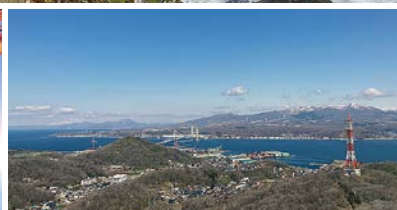
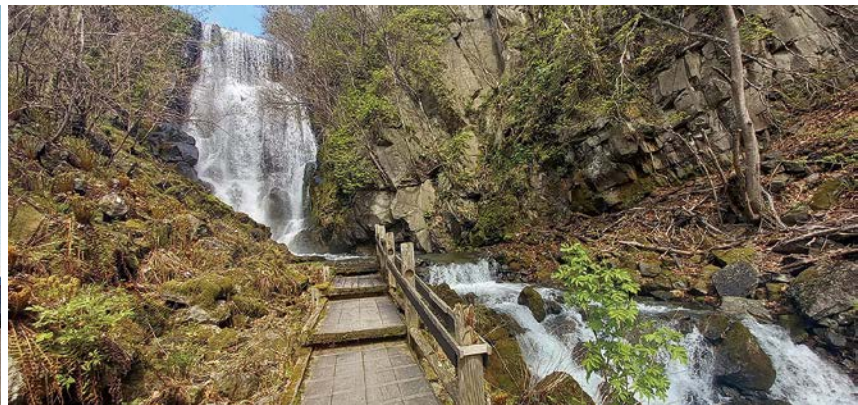




だてしん

2023年4月1日～9月30日

半期ディスクロージャー誌



DATE

伊達信用金庫

だてしん半期ディスクロージャー

当金庫の2023年9月期（2023年4月1日～9月30日）における半期情報についてお知らせいたします。

なお、以下に掲げる開示項目は、当金庫任意の情報として開示しております。また、各計数については会計監査人による監査を受けておりません。

■ 預金者別預金残高

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年9月末	増減額
個人預金	130,931	129,194	▲ 1,737
法人預金	27,597	30,170	2,573
金融機関預金	198	182	▲ 16
公金預金	14,530	17,202	2,672
合計	173,257	176,749	3,492

■ 貸出金業種別残高

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年9月末	増減額
製造業	1,618	1,555	▲ 63
農業、林業	468	441	▲ 27
漁業	62	58	▲ 4
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-
建設業	5,270	5,348	78
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-
情報通信業	44	37	▲ 7
運輸業、郵便業	1,522	1,587	65
卸売業、小売業	2,626	2,582	▲ 44
金融業、保険業	532	537	5
不動産業	10,424	10,448	24
物品賃貸業	239	319	80
学術研究、専門・技術サービス業	124	95	▲ 29
宿泊業	684	654	▲ 30
飲食業	761	708	▲ 53
生活関連サービス業、娯楽業	1,185	1,200	15
教育、学習支援業	19	22	3
医療、福祉	2,930	2,908	▲ 22
その他のサービス	2,668	2,826	158
小計	31,183	31,332	149
地方公共団体	9,045	8,033	▲ 1,012
個人	15,097	15,167	70
合計	55,327	54,533	▲ 794

■ 損益の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年9月期
業務純益	314	194
経常利益	320	54
当期純利益	326	45

■ 信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円、%)

区分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2023年3月末	63	63	28	100.00	100.00
	2023年9月末	64	64	26	100.00	100.00
危険債権	2023年3月末	2,831	2,729	1,403	96.36	92.85
	2023年9月末	3,146	3,012	1,552	95.73	91.57
要管理債権	2023年3月末	0	0	0	0.00	0.00
	2023年9月末	15	15	12	100.00	100.00
三月以上延滞債権	2023年3月末	0	0	0	0.00	0.00
	2023年9月末	3	3	3	100.00	100.00
貸出条件緩和債権	2023年3月末	0	0	0	0.00	0.00
	2023年9月末	11	11	9	100.00	100.00
小計(A)	2023年3月末	2,894				
	2023年9月末	3,226				
正常債権(B)	2023年3月末	52,724				
	2023年9月末	51,702				
総与信残高(A)+(B)	2023年3月末	55,619				
	2023年9月末	54,929				

■ 金利リスクに関する事項

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク

項番		△EVE	
		2023年3月末	2023年9月末
1	上方パラレルシフト	4,127	4,648
2	下方パラレルシフト	0	0
3	スティープ化	3,451	3,637
4	フラット化		
5	短期金利上昇		
6	短期金利低下		
7	最大値	4,127	4,648
8	自己資本の額	6,409	6,466

(注) 1. 「金利リスクに関する事項」については、平成31年金融庁告示第3号（2019年2月18日）による改正を受け、2019年3月末から金利リスクの定義と計測方法等が変更になりました。

2. 金利リスクの算定手法の概要

◆開示告示に基づく定量的開示の対象となる△EVE及び金庫がこれらに追加して自ら開示を行う金利リスクに関する以下の事項

- ①流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期…1.25年。
 - ②流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期…2.5年。
 - ③流動性預金への満期の割当て方法（コア預金モデル等）及びその前提…金融庁が定める保守的な前提の反映により考慮。
 - ④固定金利貸出の期限前返済や定期預金の早期解約に関する前提…金融庁が定める保守的な前提の反映により考慮。
 - ⑤複数の通貨の集計方法及びその前提…計測対象となる主要通貨は日本円のみ。
 - ⑥スプレッドに関する前提（計算にあたって割引金利やキャッシュフローに含めるか否か等）
- ・SWAP金利を採用。将来キャッシュフローに対して、月末時点の市場金利情報を基に算出したディスカウントファクターを掛け合わせて算出した割引現在価値を用いて金利リスク量（△EVE）を算出しております。将来キャッシュフローを保有していない金融商品（期間の定めのないもの等）については、月末残高を現在価値とみなし、金利リスク量（△EVE）の算出は行っていません。

■ 業務純益

(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年9月期
実質業務純益	339	204
コア業務純益	339	229
コア業務純益（投資信託解約損益を除く）	339	229

(注) 1. 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。

2. コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益

国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

■ 自己資本の構成に関する事項

(単位：百万円)

項 目	2023年3月期	2023年9月期
コア資本に係る基礎項目(1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	6,076	6,122
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,091	3,088
うち、利益剰余金の額	3,030	3,051
うち、外部流出予定額(△)	24	-
うち、上記以外に該当するものの額	△20	△18
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	348	358
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	348	358
うち、適格引当金コア資本算入額	-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	6,425	6,480
コア資本に係る調整項目(2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	16	14
うち、のれんに係るものの額	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	16	14
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
前払年金費用の額	-	-
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	-	-
特定項目に係る10パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
特定項目に係る15パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	16	14
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	6,409	6,466
リスク・アセット等(3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	51,023	51,537
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△300	△300
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△300	△300
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	2,864	2,864
信用リスク・アセット調整額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	-
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	53,888	54,402
自己資本比率		
自己資本比率((ハ)/(ニ))	11.89%	11.88%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

■ 所要自己資本の額

(単位：百万円)

区 分	2023年3月期		2023年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
信用リスク(イ)	51,023	2,040	51,537	2,061
オペレーショナル・リスク(ロ)	2,864	114	2,864	114
総所要自己資本額((イ)+(ロ))	53,888	2,155	54,402	2,176

(注) 所要自己資本額=リスク・アセット×4%

■ 有価証券の時価情報

(1) 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種 類	2023年3月末			2023年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地方債	20,395	20,540	144	14,897	14,969	72
	社 債	400	400	0	200	200	0
	その他	200	203	3	200	201	1
	小 計	20,995	21,144	148	15,297	15,371	73
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地方債	3,970	3,905	▲ 65	6,568	6,440	▲ 128
	社 債	6,958	6,875	▲ 82	7,550	7,439	▲ 110
	その他	1,100	1,072	▲ 27	1,100	1,072	▲ 27
	小 計	12,029	11,853	▲ 175	15,219	14,952	▲ 266
合 計		33,024	32,997	▲ 26	30,516	30,324	▲ 192

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券等です。

(2) その他有価証券

(単位：百万円)

	種 類	2023年3月末			2023年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	1,208	1,198	10	224	223	0
	国 債	1	1	0	1	1	0
	地方債	908	900	8	-	-	-
	社 債	298	296	1	223	222	0
	その他	1,061	741	320	1,072	741	331
	小 計	2,270	1,939	331	1,297	965	332
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	10,392	10,902	▲ 510	11,249	12,047	▲ 798
	国 債	1,834	1,996	▲ 161	1,729	1,996	▲ 266
	地方債	4,627	4,803	▲ 175	5,620	5,938	▲ 318
	社 債	3,930	4,103	▲ 173	3,899	4,112	▲ 213
	その他	5,179	5,699	▲ 520	4,985	5,599	▲ 613
	小 計	15,571	16,602	▲ 1,030	16,234	17,646	▲ 1,411
合 計		17,841	18,541	▲ 699	17,532	18,611	▲ 1,079

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

(3) 市場価格のない株式等及び組合出資金

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年9月末
非上場株式	9	9
投資事業組合等への出資	8	7
合 計	18	16

地域活性化等に向けた取組み

■ 農業関連支援にかかる取組み

<伊達産玉ねぎのPRチラシ作成支援>

伊達市の温暖な気候を活かした越冬たまねぎ（ブランド名「えったま333」）を地域ブランドに育てるプロジェクトの販売促進支援策として、栄養成分などの分析を専門とする会社およびその関連のデザイン会社とともに、PRチラシを作成しました。

<地域ブランドトマトへの技術支援>

当金庫では、温泉地熱を使ったブランドトマト（ブランド名「オロフレトマト」）の技術支援を行っています。オロフレトマトは、昭和55年からスタートしている温泉地熱を利用した、冬場に収穫できるトマトとして栽培・販売しておりますが、少子高齢化による後継者問題や生産効率向上の課題を抱えており、当金庫への相談となりました。これまで、勉強会の実施や種苗メーカーとの適合する肥料試験、ハウスでの技術指導やIT導入による環境制御提案などを実施しています。



えったま333 オロフレトマト勉強会

<(株)日本政策金融公庫と農業に関する勉強会を実施>

当金庫役職員と(株)日本政策金融公庫役職員との合同による、農業に関する勉強会を実施しました。現地研修では、当金庫職員が講師となり、植物の見るべきポイント等について説明し、座学研修では(株)日本政策金融公庫職員が講師となり、農業融資を取組む際のポイントを説明しました。

このように地域農業者への円滑な金融支援を継続的に実施できるよう連携先との関係強化に努めています。

■ 取引先支援に向けた取組み

当金庫の経営サポート専門チームである経営支援室は、外部機関や各種補助金などの公的支援制度を活用して、経営者の皆様が抱える悩みの解決をお手伝いしております。

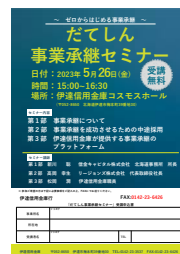
現在は、信金中央金庫からの法人版ふるさと納税「SCBふるさと応援団」の寄附を受け、ふるさと納税による取引先の売上向上と市税の増加策を実施しております。6月中の1ヵ月間は、市内事業者17社65商品を、伊達市および(株)ANAの関連会社と連携し東京八重洲にて実演販売を兼ねた商品と伊達市のPRを実施し、4,200名超の来店がありました。

その他にも、5月には、信金キャピタル(株)、リージョンズ(株)と連携した、事業承継セミナーを開催しました。セミナーに参加した42社の事業者は、個社の事情と照らし合わせながら、将来の準備に向けて熱心に耳を傾けておりました。

また、札幌商工会議所と連携した中小企業診断士の実習生による総合経営診断の無償提供を、昨年に引き続き実施いたしました。



TOCHI-DOCHI



事業承継セミナー

地域貢献等の取組み

■ 【信用金庫の日】の取組みとして、「使用済み切手」「リングプル」を寄贈

当金庫では、毎年6月15日の「信用金庫の日」の取組みとして、お客様からご提供いただいた「使用済み切手」「リングプル」を伊達市内の団体へ寄贈しています。

今年は、「使用済み切手」約4,500枚を社会福祉法人伊達市社会福祉協議会様へ、「リングプル」約49kgを伊達身体障がい者福祉協会様へ寄贈させていただきました。

「使用済み切手」「リングプル」は、それぞれ収集家、専門業者に買い取られたのちに、車椅子購入などの慈善事業資金となります。趣旨にご賛同いただき、ご協力いただきました皆様には、心よりお礼申し上げます。

■ 営業店インターネットFree Wi-Fiのお客様開放について

2023年9月1日より、当金庫の全営業店において、インターネットをFree Wi-Fiで利用出来るようにいたしました。

お客様用IDおよびPWは下表のとおりです。

ID	PW
datesinkin-honten@guest	youkosodatesin01

■ 社会貢献活動

以下の地域イベントや清掃活動などにボランティアとして参加いたしました。

- 4月16日(日) 伊達ハーフマラソン (伊達市)
- 5月21日(日) 洞爺湖マラソン大会 (洞爺湖町・壮瞥町)
- 6月10日(土) 知利別川清掃活動 (室蘭市)
- 6月17日(土) 駐車帯花壇づくり (伊達市館山町)
- 6月24~25日(土・日) TOYAKOマンガ・アニメフェスタ2023 (洞爺湖温泉地区)
- 7月2日(日) 洞爺湖町洞爺産業まつり (洞爺湖町)
- 7月29日(土) 洞爺夏まつり (洞爺湖町)
- 8月4~5日(金・土) 伊達武者まつり (伊達市)
- 9月3日(日) 室蘭市東町町内会清掃 (室蘭市)
- 9月9~10日(土・日) 北海道ツーデーマーチ (洞爺湖町)



知利別川清掃活動 (室蘭市)

2023年度上期だてしんトピックス

4月

- 学校部活動の地域指導者の活動登録開始

5月

- 「事業承継セミナー」の開催

6月

- 「ビジネスカジュアル」の導入
- 「信用金庫の日」の取組み
- 献血の実施
- 第74回通常総代会の開催
- 清掃および花壇の植栽ボランティア（伊達市・壮瞥町）
- リングプル、使用済み切手の寄贈
- 「TOYAKOマンガ・アニメフェスタ」ボランティア

7月

- 消防用設備操法フェスティバルへの参加

8月

- 第1回「アグリベーシックセミナー」の開催

9月

- 通帳レスアプリの開始
- 営業店内インターネットWi-Fiの開始

10月

- 福島信用金庫との「伊達の郷」友好協力協定の締結

だてしん 「職域サポート契約」制度

～従業員の皆様の福利厚生に是非ご活用ください!!～

当金庫と「職域サポート契約」を締結された事業所等にお勤めの皆様が各種ローンを優遇金利にてご利用いただける制度です。

昨年開設した「職域サポート対象者様専用WEBページ」では、資金用途がご自由な「職域フリーローン」をはじめとする、各種サービスの提供を行っており、さらに本制度をご利用しやすくなっております。

※職域サポート契約件数434先（9月末現在）



DATE

伊達信用金庫

発行/2023年11月

企画/伊達信用金庫 総務グループ ☎0142-23-3536

[ホームページ] <https://www.shinkin.co.jp/dateshin/>

[Facebook] <https://www.facebook.com/dateshinkin/>



HP



Facebook